

令和元年度第2回 鶴岡市学校給食センター運営委員会

日時：令和2年2月14日（金）午後3時

場所：学校給食センター会議室

1. 開会 （調整主幹）
2. あいさつ （布川教育長）
3. 報告 議長 今野委員長

報告第1号 令和元年度鶴岡市学校給食センター運営状況について（資料により説明）

委員長 ただいま、事務局より報告第1号の説明がありました。何か委員の方からご質問ご意見がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

委員 この度の櫛引センターでの学校給食への異物混入の件についてお聞きします。やはり、このような事態になったことについては、保護者としましても残念に思います。

櫛引の学校給食について、時期的に年末になったこともあり、もう一度、その後の経過と原因結果等の説明をお願いします。また、学校での配膳の状況等も説明していただければと思います。

所長 この度の異物の混入につきましては、重ねてお詫びを申し上げます。櫛引学校給食センターについての異物混入の件でございますが、櫛引学校給食センター内の調理器具等や米飯提供の委託業者の調理器具等の点検をしました。結果は、異物に該当するものではありませんでした。そのため、物質特定のため検査機関に調査依頼したところ、「カルシウムを主成分とする物質であり、形状などから骨等である」との報告がありました。異物の断定とまではいきませんが、食材由来からの骨片のようなものと思われます。食材納入業者にこの件を、調査したところ原因の特定にはなりませんでした。調理前に行う食材の検収時の不徹底も原因になろうかと思えます。

学校での配膳等の関係であります。学校内での配膳の手順なり、やり方を詳細までは、把握してはおりません。しかしながら、先ほど報告の中にもありましたように、学校給食センターと学校との円滑な運営という観点からも会議も設けています。さらには、学校給食センターから各学校への訪問ということで、年間計画をしております。今後とも、希望や要望をはじめとして、互いにより向上するように意見交換・情報交換を密に行いたいと思えます。

委員 学校給食についての報告ありがとうございます。説明を聞いていますと、いろいろな工夫を重ねて提供していただいていることに感謝いたします。説明の中で、米粉を利用した補助金や地産地消の補助金の説明がありました。この辺の事をもう少し詳しく教えてください。

所長 学校給食の補助金についてですが、県の補助制度を活用しております。具体的には、地産地消促進事業補助金で、年間約500万円程度であります。また、米粉利用推進事業補助金で、年間70万円程度です。米粉パンなどに活用をしております。最後に、米飯給食実施事業補助金で、120万円程度であります。鶴岡市すべての学校給食センターでの活用をしており、学校からいただいている給食費とは、別建てで実施しており、児童・生徒の学校給食の充実を図っております。

委員 分かりました。ありがとうございます。もう一つ、関連してですが、地産地消の利用率のことです。野菜等の利用率と魚介類の利用率について、魚介類の利用率が低い実態があります。わたしの学校は、海側の学校でもあり、また漁業関係者も多くいます。少し、残念な状況です。その辺の原因と申しますか、理由が分かれば教えてください。

所長 地産地消の利用率であります。学校給食センターのみならず、各地域庁舎における行政からの支援状況等で利用率には、ばらつきがあるのが現状です。これが学校給食センターでの献立作成にも反映しております。野菜等に対し魚介類の地産地消の利用率が低くなっている件がありますが、これまでの支援状況のばらつきによるものと思われませんが、今後、現状の把握に努めると共に各地域の支援策等について関係者間で情報交換等を密にして、魚介類の利用率向上に努めたいと思います。

委員長 委員の皆様からは、他によろしいでしょうか。それでは報告の第1号については、ご質問、ご意見は無いようですので、これで終わります。次に報告第2号についてセンター側から説明をよろしく願いいたします。

報告第2号 令和2年度学校給食費について（資料により説明）

委員長 ただいま、事務局より報告第2号の説明がありました。何か委員の方からご質問ご意見がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

委員 資料の17頁の令和2年度学校給食費試算表のところですが、数字のことで恐縮ですが、平成31年度実績の児童生徒数と年間食数と令和2年度の児童生徒数と年間食数の関係が、分かりません。どういうことか教えてください。

所長 児童生徒数が、減少しているのに食数が増えていることが、質問と思われます。説明を補足いたしますと、平成31年度は実績見込みの数値で、一人平均にしますと約187食となっています。当初計画に対して学校行事や本年度6月の山形県沖地震による全校休校、インフルエンザ等による学級閉鎖による学校給食の休止等により食数が減少となります。

一方、令和2年度については、予算の関係もありますが、当初計画では学校への提供日数ということで、年間200日を見込んでいるものであります。そのようなことから、資料の数値になっているものであります。

委員長 委員の皆様からは、他によろしいでしょうか。それでは報告の第2号については、ご質問、ご意見は無いようですので、これで終わります。次に議第1号についてセンター側から説明をよろしくお願いたします。

4. 協議 議長 今野委員長

議第1号 令和2年度学校給食センターの運営方針について（案）ご提案をお願いします。

所長 資料は18頁からになります。運営方針については、数項目にわたりお示しをしております。

まず、上の囲みの部分については、令和2年度の教育委員会の重点方針、あるいは目標の中から特に学校給食に関係する箇所を整理しております。昨年度同様の方針ではありますが、「逞しさ・優しさ・賢さを育む学校教育」の基本方針のもとで栄養バランスのとれた安全でおいしい給食の提供により、心身ともに健やかな子どもの成長を育む学校給食づくりに努めることと、学校と家庭とが連携し、食事の大切さや感謝の気持ちなど食育の充実を図り、健康的な食習慣の育成と地域の行事食や郷土食の提供により、食文化創造都市にふさわしい食育・食文化の継承に努めることとであります。

給食内容の充実を図るとともに食に対する食育の充実も図ります。具体的には、米飯給食につきましては、山形県奨励の「つや姫」「雪若丸」の提供の拡大を図ります。また、従来の地域特性を生かした行事食や郷土食も継続してまいります。さらに、ユネスコ「食文化創造都市」に認定されたことによる特別献立も様々なご意見を伺いながら継続して、児童生徒への食文化の継承を図るものです。学校給食費については、先に報告をいたしましたとおり令和2年度につきましては、据え置きといたします。なお、今後の諸物価等の推移を注視いたしまして、今後とも安全安心な美味しい給食提供を目指すものです。

地産地消につきましては、今年度に策定された「鶴岡市食文化創造都市推進プラン」に沿って、生産者や関係団体と連携しまして利用拡大に一層取り組んでいきます。

食品・食材の衛生管理につきまして、「大量調理施設衛生管理マニュアル」「学校給食衛生管理基準」を、従来以上に徹底してまいります。同様に、この度発生してご迷惑をおかけしました異物の混入については、原因調査と再発防止のため、マニュアル等の見直しを図るものです。

現在、鶴岡市第二次の総合計画を推進しておりますが、当鶴岡の給食センターが昭和62年の建設であることから、この先10年間の総合計画の後半期間の改築を見据え、地域拠点としての位置付け、食物アレルギーの対応やさらに夢のある給食など内外に魅力発信ができるように、市民とともに対話を重ねながら、「学校給食のあり方検討会」や市民ワークショップなどを開催してまいります。

給食費につきましても、引き続き適正管理を行うほか、給食費未納に対しては公平性を損なうことの無いように努めてまいります。

最後に、平成30度より子育て世代の負担軽減策として給食費の第三子の無償化事業についても、その制度周知と定着を学校との協力を得ながら継続し、負担軽減策に努めるものであります。

委員長 それではただいま所長さんからご説明頂いた令和2年度の運営方針について、ご質問ご意見ございませんでしょうか。

委員 質問、意見ではありませんが、いつもおいしい給食をありがとうございます。実は、鶴岡出身で、東京で教員をしている教え子が鶴岡に帰って来たときに話をしますが、鶴岡の給食は美味しいということを言います。改めて、食というのは、理屈でなく体で覚えているもの、そして心に残っているものだなあと痛感している次第です。このことが、郷土の愛着につながり地元定着につながれば素晴らしいことだと思います。本日の会議に参加して、学校給食センターの皆様には、衛生管理をはじめ給食費予算の中での献立作成や調理に関しても、様々なご苦労があることが分かりました。改めて、感謝を申し上げます。

委員長 委員からの感謝の発言がありました。私からも若干申し上げたいのですが、学校のPTAの関係で、学校給食も食べたりします。子どもたちへ栄養バランスを考えた美味しい給食を提供いただき、改めて感謝申し上げます。実は、この間の同級会があったとき、食事会をしました。何種類かの料理をその席に並べて食事をするのですが、自分たちが子どもの時に食べた学校給食が、最初になくなりました。やはり、食というか味覚というか、大人になった今でも体に刻まれているものだなあと私も思っています。学校給食センターの皆様も色々大変でしょうが、このような大人になっても食べたい給食をめざしていただけたらと思います。

委員長 他にいかがでしょうか。それでは、議第1号令和2年度学校給食センターの運営方針について、ご承認いかがでしょうか。

委員の皆様から承認をうけたことを報告します。

他に何かございませんか。それでは4番の協議については以上でございます。

調整主幹 委員長、議事進行ありがとうございました。それでは、本日の運営委員会で、こちらの用意した提案に関しましては以上です。

次第の5. その他であります、何かございますか。

その他もないようですので、これをもちまして第二回の運営委員会を閉会いたします。

皆様ありがとうございました。

(閉 会)

終了16：45